

# START-UP!

VOL.017 TAKE FREE

# B S T J

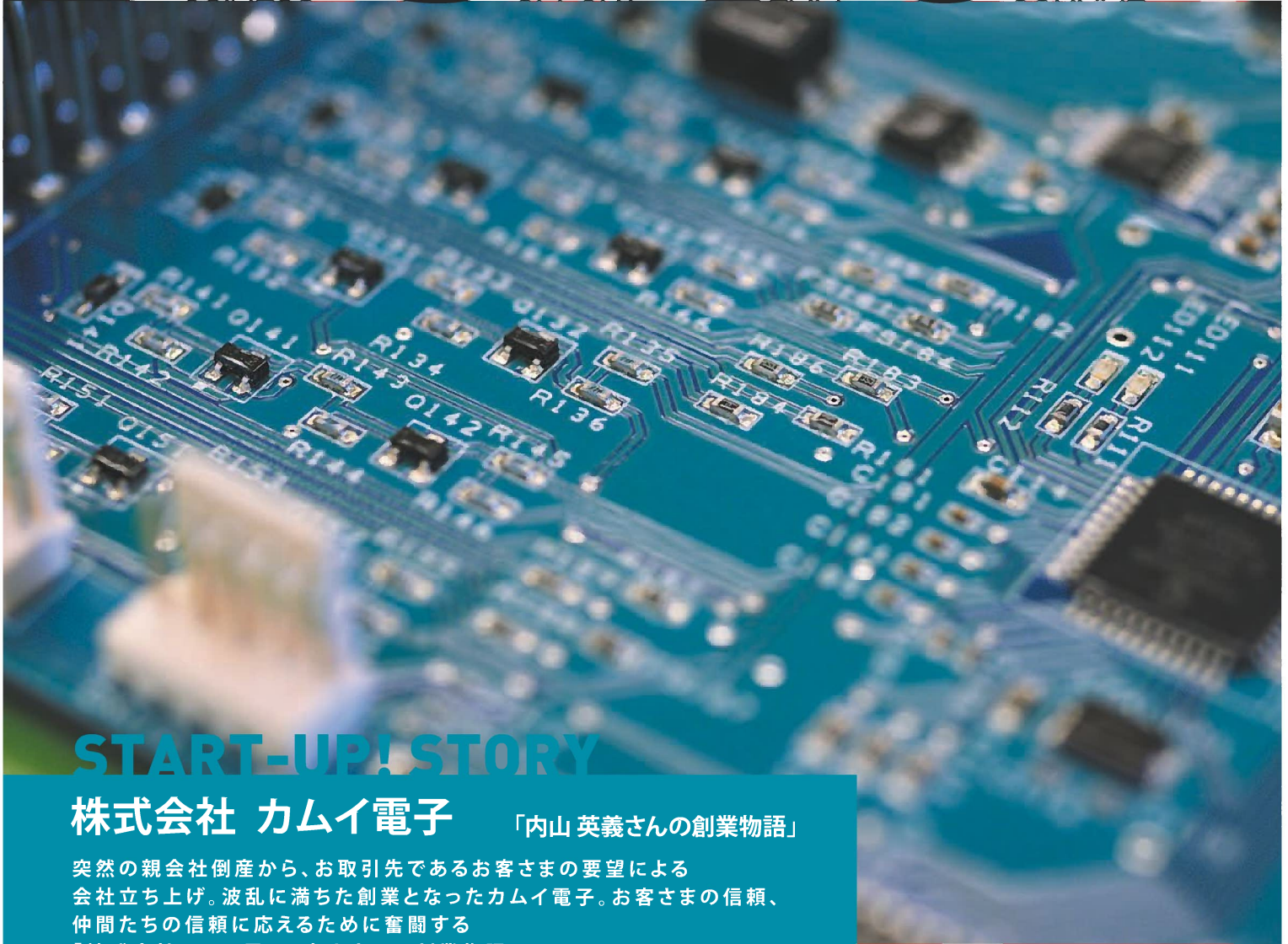
BUSINESS

SUPPORT

TEAM

JOURNAL

登別編



## START-UP! STORY

### 株式会社 カムイ電子

「内山 英義さんの創業物語」

突然の親会社倒産から、お取引先であるお客さまの要望による会社立ち上げ。波乱に満ちた創業となったカムイ電子。お客さまの信頼、仲間たちの信頼に応えるために奮闘する「株式会社カムイ電子」内山さんの創業物語。

内山英義さんの創業キーワード

Start-up! Keyword

# 信頼に応える。

# ひとつの創業には、 たくさんの物語がある。



Start up・Business  
創業・経営支援チーム  
Support Team

## 事業内容の紹介

# KAMUI DENSHI Data

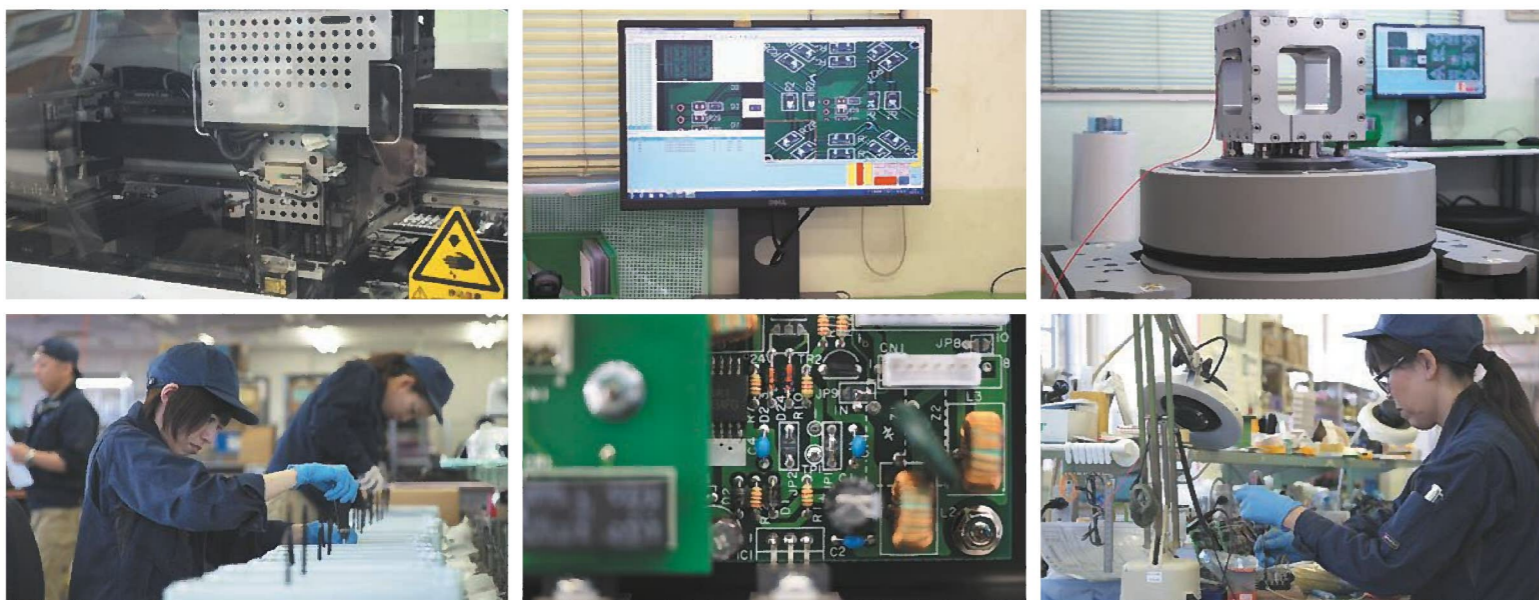
## 産業用電子機器の設計と製造で、お客さまの“モノづくりの夢の実現”を支える。

小さな板に迷路のように巡らされた回路、そして整然と並ぶ1mmにも満たない無数の電子部品。さまざまな電子機器を動かしたり、設備の制御に欠かせないのが、電子部品を実装(ハンダ付けで固定)したこのプリント基板です。

内山英義さんが社長を務める「カムイ電子」は、2013年に登別市で創業。プリント基板の実装を中心に、産業用電子機器の製造や組み

立て、ソフトウェアの開発まで、その業務は多岐にわたります。

高密度に電子部品を実装するプリント基板の回路は1枚1枚異なるため、お客さまの依頼に応える形で試作や製作を行う、まさにオーダーメイド。「例えば多品種、少量生産であっても、お客さまの依頼には細やかに短納期に対応しています」と、内山さん。そこまでできる企業は道内ではまだ少なく、高い技術力で信頼と実績を積み重ねています。



## 倒産から始まった会社ゆえ、信頼に応える企業でありたい。高性能機器と技術力の研鑽で、高品質へのチャレンジを!

今でこそ順調に業績を伸ばしているカムイ電子ですが、その誕生は波乱に満ちたものでした。

内山さんは1992年、電子機器を扱う登別の企業に入社。優れた技術力で信頼を得てきた同社を、主に事務方として約20年間支えてきました。ところが、親会社の業績不振により、2013年に倒産。内山さんを含む社員全員が解雇という非情な結果に。その当時、総務の責任者だった内山さんは残務処理に追われながら、従業員の再就職口の確保にも頭を悩ませていました。

そんな中、取引のあった多くの企業から「新たな会社をつくり、一日も早く生産を再開してほしい」と、要望の声が上がりました。その声に背中を押され、内山さんは社長になることを決意。倒産から設立までわずか1ヵ月弱という短い準備期間でしたが、9名の元社員と会社をスタートさせたのです。

少しずつ元の社員を呼び寄せ、高い技術力の維持に努めながら、お客さまのニーズに細やかに応えられる生産体制を構築。その甲斐あって、前社でお付き合いをしていた8割の企業が取引を継続。新規のオーダー、お客さまも増えているといいます。

現在の社員は25名。女性も多く働いています。整理整頓された工場内には大型機器や自動ラインがそろっていますが、機械まかせにせず、最終的には人の目で細部に至るまでチェックしている様子が印象的でした。「どんなに機械化が進んでも、扱う人間がいてこそその技術です」。そう力強く話す内山さんの言葉からも、お客さまから支持される技術力への自信と誇りが感じられました。

最近では大学などと連携し、リハビリ支援システムを開発。「今は新しい分野につながるように種まきをしている時期。今後も技術力を生かし、信頼に応えられる会社でありたいと思っています」。

<b>表面実装ライン</b> 基板へのパーツ組み込み、ハンダ付けはラインで素早く正確に。	<b>外観検査装置</b> 品質を守る厳密なチェック。不良品は見逃さない。	<b>振動検査装置</b> 基板ができたら終わりではなく、組み込み後の振動で不具合が出ないかもチェックされる。
商品組み立ての作業を請け負う。女性も多く活躍する。	せまい範囲にぎっしりと並ぶ電子部品。	細かい作業であるがスピードと正確性が求められる。

## 創業の動機や経緯について

### 思わぬ倒産で自身の職を失う中、お客さまの「事業継続」の声が後押しに。自ら代表となり創業を決意。

親会社の業績不振により、以前勤めていた電子機器の会社が倒産。当時、総務を担当していた内山さんはその残務処理と40名いた従業員の再就職先を探すために奔走。「そんな中、従業員の再就職先の確保と、お客さまから『事業を続けてほしい』との声を多くいただき、会社の立ち上げを決意しました」。



▲お客さまの信頼につながる多品種・少量生産の現場。

## 創業時の苦勞・悩み・解決方法について

### 重責に思い悩むことも度々。周囲からの叱咤激励とさまざまな形での応援に奮起。

「自分が社長でいいのか、思い悩むことは多々ありましたが、従業員や周りの方々に相談し、叱咤激励をいただければ、またがんばろうと思う繰り返しでした」と、内山さん。また、資金繰りについては、以前からのお客さまが「カムイ電子という会社ができるから協力して」と、金融機関に働きかけてくれたそうです。「その時に保証協会さんにもお世話になりました。こういうことが全部つながり、北洋銀行さんとの融資の話し合いはスムーズにいきました」。

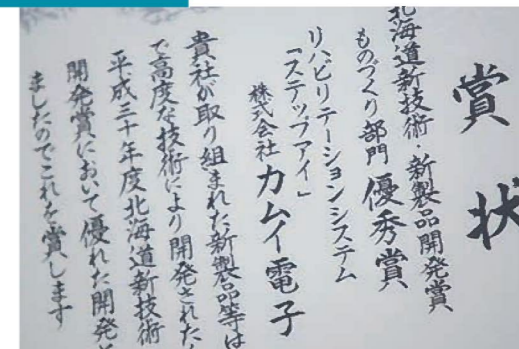


▲機械が進化しても、人のチカラが欠かせない仕事。

## 経営において心がけていること

### 品質重視で要望に応える会社を。つぶれない会社づくりと維持は、従業員やお客さまとの信頼の証し。

「私どもの会社は『多品種・少量・短納期』を売りにしていて、品質重視のモノづくりを進めています。お客さまの要望には可能な限り応え、喜ばれる会社を目指しています。解雇で大変な思いをしたので、「つぶれない会社」を作ることで従業員も安心して働けますし、お客さまも安心して仕事を出していただけると思うんです。「つぶれない会社」を作ることは、これまでの感謝の気持ちをわかりやすく表すことだと思っています」。



▲一貫して変わらないモノづくりの精神。

## START-UP! Advice!



信頼できる  
仲間とともに。

by 内山 英義さん

私の場合、勤めていた会社の倒産を経て創業を経験したという特殊な経緯ではありますが、信頼できる仲間と一緒に事業を立ち上げられたことが一番良かったことです。これから事業を始める方であれば、周りにいろんなことを相談できる方がいると、それだけで気持ちの負担も軽くなるんじゃないかと思います。私もそういう方々に助けていただいて今がありますので、そこは結構大きいかなと思います。

## Start-up! Keyword

# 信頼に応える。



## 株式会社 カムイ電子

代表取締役 内山 英義

住 所 北海道登別市千歳町2丁目10-3  
TEL 0143-84-8152  
FAX 0143-84-8153  
HP <http://www.kamui-denshi.com/>



# NEWS

北海道信用保証協会からのお知らせ



## 「オーエンチャンネル」VOL.13が完成しました!

北海道で活躍されている創業者をご紹介します動画コンテンツ「オーエンチャンネル」のVOL.13が完成しました!

今回は本誌にも掲載している「株式会社カムイ電子」の内山 英義さんの創業物語です。

本誌と併せて、オーエンチャンネルでも創業者をご紹介しますので、ぜひご覧ください!



**You Tube** [北海道信用保証協会 オーエンチャンネル](#) 検索

## 創業者向けセレクトセミナーを開催しました。

平成31年1月29日(火)と31日(木)に、創業に役立つ2つのテーマについて参加者が興味あるものだけを選択したうえで受講できる「創業者向けセレクトセミナー」を開催し、多くの方々にご参加いただきました。

参加者の皆さまには熱心にご参加いただき、この場を借りてお礼申し上げます。

なお、今後も創業に役立つセミナーを開催する予定にあります。詳細が決定しましたら、当協会のホームページやフェイスブックページで告知させていただきますので、ご興味ある方はぜひご参加ください。

### ◆セミナー詳細

- ①平成31年1月29日(火)18:30 ~ 20:30 『お客さまの心に届く対応のコツ』  
後藤 真澄 人材育成コンサルタント
- ②平成31年1月31日(木)18:30 ~ 20:30 『色』で引き寄せる3つのポイント』  
外崎 由香 カラーコーディネーター



## START-UP! BUSINESS SUPPORT TEAM JOURNAL VOL.017

北海道信用保証協会 業務部 企業支援課  
札幌市中央区大通西14丁目1 TEL. 011-241-5605  
<http://www.cgc-hokkaido.or.jp/>



facebook  
北海道信用保証協会  
創業・経営支援チーム

